

心と心、笑顔のリレー



2024年
9月発行

VOL.47



社会福祉法人 豊済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター

TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131

<http://www.saiseikai-toyama.jp/>



産婦人科

私は2024年4月1日から当院の産婦人科医師として就任いたしました。出身は富山県であり、富山大学を卒業後、富山大学附属病院や富山県立中央病院のほか、県内の各総合病院や様々な産婦人科クリニックで診療を行って参りました。

産科診療は当院では諸事情により現在、分娩事業は取り扱っておりませんが、妊娠初期から妊娠8か月(妊娠30週前後)までの妊婦健診を行っており、妊婦さんたちの不安を取り除けるよう心掛けた診療を行い、赤ちゃんの体位条件が合えば3D画像写真もお渡しするようしております。

婦人科診療で対応する範囲は非常に広く、女性のライフステージで生じる心や体の悩みにも幅広く対応しております。月経のある女性の約70%が月経に伴う痛みやメンタル面の変動(月経困難症)により日常生活に支障があるとされ、思春期であれば学業/受験や学校行事に、青年期や壮年期であれば仕事や家事などの日常生活に取り組みづらいと悩んでいるとされ、早めの治療介入がなければ将来的に子宮内膜症などの器質性疾患に繋がっていくといわれています。当院では器質性月経困難症の認定施設として、問診のほか血液検査や超音波検査、MRI検査などを行い、漢方医療やホルモン療法を実施し、通院されている患者さまの満



(前列) 山田医師 (後列左から) 恒田事務員 岡崎看護師

足度の高い診療を行っております。閉経後の骨粗しょう症や子宮脱、尿もれなどの症状に悩む方も、治療により改善効果を認め、通院しておられる患者さんも多くおられます。

婦人科がん予防にも積極的に力を入れており、子宮頸がんでのWHOが指定する90-70-90運動(子宮頸がんワクチン接種率90%以上、婦人科検診受診率70%以上、早期発見による治療介入90%以上)を実現すべく子宮頸がんワクチン接種や検診業務を行っています。ワクチン接種に関して不安に思っておられる方の質問や疑問を解消できるよう、問診対応やデータを提示し、万が一、持続性疼痛などの副反応が生じた際も、厚生労働省が定める北陸地区認定施設として治療実績のある富山大学附属病院と連携し継続的な診療を実施しています。検診業務では子宮頸がん、子宮体がん、超音波検査で子宮/卵巣の評価も実施しています。

そのほか不妊診療も実施しています。現在、不妊治療に悩むご夫婦は5~6組に1組と言われており、妊活を行っても1年以上妊娠しない場合は、何らかの検査・治療が必要となる場合があります。当科では一般不妊検査として超音波検査やホルモン検査、卵管造影検査を行い、治療としてはタイミング指導・排卵誘発剤での調整などを実施しています。不妊症では男性因子(精子の異常など)が原因の約半分ともいわれており、当院泌尿器科と連携して診療も行っております。

末筆にはなりますが、生まれてから働き出して今に至るまでも富山県に育てていただいたという気持ちがあり、富山県への恩返しとして産婦人科医の立場から貢献していきたいと考えています。そのためにも最新の知識を日々学び導入していくことを心掛けております。お困りがございましたら気軽にご受診ください。

文責/産婦人科部長 山田 清貴

産婦人科 外来担当表		月	火	水	木	金
1診	午前	山田	山田	山田	山田	大学医(米田)
	午後	山田	山田	山田	山田	大学医(米田) ※思春期外来(予約制)

摂食・嚥下障害看護認定看護師の紹介



通常は、病棟とNST(Nutrition Support Team, 栄養サポートチーム)の専任として勤務しています。NSTは、医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、管理栄養士、運動療法士、看護師等で構成され、入院患者の栄養管理のサポートを行います。NSTは週に2回、回診とカンファレンスを実施しています。NSTの内容としては、褥瘡保有患者に対する栄養サポートや経口摂取量が少ない患者に対し、栄養補助剤を提供するなどが主なサポートとなります。

その他に嚥下サポートチームの一員として、嚥下障害患者や嚥下機能の低下が見られる患者に対して、安全に経口摂取ができるようにサポートしています。嚥下サポートチームは医師、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、言語聴覚士、運動療法士、作業療法士、放射線技師、薬剤師、看護師等から構成されています。嚥下サポートチームでは、週に1回カンファレンスとミールラウンドを実施して

います。また、当院で実施しているVE検査(嚥下内視鏡検査)・VF検査(嚥下造影検査)のサポートも行っています。

その他の活動として、入院患者の嚥下訓練や、看護師や看護助手からの嚥下相談や食事に関連した指導・研修を実施しています。研修としては、新人研修や看護助手研修での講義と実技指導等となります。また、病院全職員を対象にYouTubeによる動画研修も実施しています。

超高齢化社会の中、嚥下障害患者が増加しています。今後も、他職種と連携し患者が安全に楽しく食事ができるように努めていきたいと思えます。

文責/主任看護師 村川 高明

消化器内視鏡センターの紹介

消化器内視鏡センターは、消化器疾患に対する専門的な内視鏡検査や治療を集中して行っています。スタッフは消化器内視鏡指導医3名、専門医2名を含む10名の常勤医師と非常勤医師4名に加え、4名の常勤看護師及び看護助手1名に加え非常勤のコメディカル数名で運営しています。

検査としては昨年度の実績で、上部消化管内視鏡検査5368件、大腸内視鏡検査1427件行いました。膵臓や胆道疾患の検査に重要な内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)や超音波内視鏡検査(EUS)は89件施行しています。当院は富山大学の膵臓・胆道サテライトセンターとなっており、大学病院と連携して超音波内視鏡下針生検(EUS-FNA)など最先端の高度な検査も積極的に行なっています。



特徴的なこととして当院は富山市の胃癌健診を請け負っており年間約1000件行っていますが、最近では内視鏡検査による胃癌発見率の方が胃透視より高いことが明らかになってきたため主流となり、昨年度は約8割にあたる790件を当センターで行いました。一方技術の進歩により内視鏡がずいぶん細くなり、太さは5～6mmで太めのうどん位ですので鼻から挿入しての検査が可能になっています。当初は細いため若干劣っていた画質も向上し診断には十分なため、当院では経鼻専用機を6機導入して積極的に内視鏡を行っています(写真)。経鼻内視鏡検査は、口が塞がれないので検査中に話をする事もでき、のどを通っている時の違和感が少なくオエツとなるのがほとんど無くなるのであまり辛くないため希望者が増加しており検査件数は年々増加しています(図)。

治療では胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、大腸癌に対する粘膜切除術(EMR)といった一般的な消化管がんに対する内視鏡治療を多数施行しています。膵胆道疾患においても、検査と同様に富山大学とのコラボレーションにて上述のERCPとともに胆管結石治療

や膵癌や胆道癌などの悪性疾患に対するステント治療を行なっています。そのほか県内ではあまり行われていない特殊な治療として、慢性膵炎で見られる難治性疼痛の原因となる膵石に対して非常に有用な体外衝撃波結石破碎術(ESWL)を内視鏡検査や治療と併用し今年から開始しました。

当センターでは最新の機器を用意し専門性の高い診療を幅広く受け入れておりますのでぜひご利用いただければと思います。

(図) 経鼻内視鏡検査数



文責／消化器内視鏡センター長 坂東 正



当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

検査予約時間	CT	心臓CT
	10:00~11:30 (火・金以外)	月 14:00~15:00
	13:30~16:30 (月・水)	火 14:00~14:30
	RI	水 14:00~15:00
	8:30~11:30 (月~金)	木 14:00~14:30
	13:30~16:30 (月~水)	金 14:00~15:00
	MRI	
	13:30~16:30 (月・水)	

令和6年4月以降
CT・MRI検査予約枠
変更となりました。
ご了承ください。



富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1120(直通) FAX 076-437-1131(直通)

ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 医療の質向上をめざすこと
- 地域に貢献すること
- 自己研鑽と育成に努めること
- 健全経営をめざすこと

行動指針

- 私たちは 患者さんの立場にたって行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 療養に専念する責務
- 医療費を支払う責務
- 診療行為に協力する責務
- マナーや規則を守る責務